

2016. 6. 4 (土) 14:00~15:30

「竹島問題」研究の現状と啓発

～ “次世代への継承” に応えるためには ～

島根県竹島問題研究顧問 佐々木 茂

(松徳学院高等学校)

島根県竹島問題研究会は、第1期以来、「竹島問題」に関する絵図・地図、前近代と近現代の歴史的な研究、国際法からの研究、学校教育における「竹島学習」のあり方、さらにそれらの基礎ともなる資・史料の収集や隠岐調査など多くの成果を上げ、昨年6月に第3期の研究会が終了した。

また、国レベルでは、文科省で学習指導要領解説の改訂などを通じて「領土教育」のより一層の充実がはかられている。一方で、海洋政策・領土問題を主管する特命・担当大臣が任命され、内閣官房に設置された領土・主権対策企画調整室では資料収集や内外への情報発信など領土問題に関する諸施策が進められている。

今回の講座では、竹島問題に関する研究の現状をふまえ、「啓発」について考えてみたい。

1. はじめに

2. 竹島問題研究会(第1期～第3期)の現状

3. 県民意識の変遷から

4. 「啓発」を考える ～ おわりにかえて

————— M E M O —————